

平成 26年 6月 6日

大学院生の皆様へ

生理学講座
環境生理学

特別講義についてのお知らせ

このたび 米国国立衛生研究所 木村 智大 先生のセミナーが、下記の要領で行われます。

多数ご聴講下さいますようご案内申し上げます。

記

講 師 米国国立衛生研究所

木村 智大 先生

講義内容 固体NMR法によるGPCR研究：脂質エンドカナビノイド受容体CB2
Solid-state NMR approach to study the human cannabinoid type-2
receptor CB2 in lipid bilayers

G protein-coupled receptor (GPCR) は7回膜貫通型ヘリックス構造を共通の構造として持つ膜タンパク質であり、生体内細胞において細胞の内と外の間の分子情報伝達について必要不可欠な役割を担う。その作用機序の概略は、(1) 細胞外作用因子、すなわち神経伝達物質、ホルモン、天然あるいは人工の薬物などに対する特異的な分子認識、(2) 細胞膜中での協奏的な構造変化、そして(3) 細胞質側における G protein の結合と活性化である。しかし膜タンパク質一般についてさることながら、その構造が著しく不安定な GPCR の構造-機能相関の研究は未だ発展途上の初期段階にある。免疫機能を司る脂質エンドカナビノイド受容体 CB2 について、生理的な環境下である脂質二分子膜中において、固体 NMR を解析手法 (等重量の水を含む proteoliposomes の dispersion を試料とする) として近年得られた研究の足がかりとその成果について報告する。

日 時 6月 20日 (金)
18:00~19:00

場 所 医学図書館3階 視聴覚室

医科学専攻修士課程：人体機能学、環境生理学、生活環境と健康の科学、
機能性物質・食品の応用の基礎、医食同源の科学

博士課程：応用医科学(4)、内分泌・代謝学Ⅱ(53)、分子病態学Ⅰ(60)、
生体病態学Ⅲ(68)、機能性物質・食品の医療応用と環境影響(98)
上記の科目を履修している学生は、できる限りこの講義に出席してください。